

投稿規定

1. 投稿資格

投稿資格者は、熊本保健科学大学の専任教員、または専任教員が含まれる共同研究者、その他、保健科学研究誌委員会が投稿を依頼したものとする。

2. 原稿の種類及び内容

原稿は和文または英文とする。投稿原稿の種類は、以下の区分に分類し未発表のものとする。また、重複投稿は禁止する。

- 1) 総説：特定の研究テーマについての解説や研究誌委員会からの依頼によるもの
- 2) 原著論文：独創性に富み、新しい知見を示した研究論文
- 3) 研究報告：研究上の問題提起、興味深い事実や実態・事例に関する論文
- 4) 資料：調査や研究で得られた重要データを整理しまとめた論文
- 5) その他：教育実践報告、研修報告、国際学会・セミナー報告など、保健科学研究誌委員会の企画によるもの

3. 掲載論文

投稿論文のうち、原著および研究報告は、原則として2名の査読者によって査読を受けた論文とする。また、査読者は原則として学外の関連分野の者とする。なお、倫理上問題となるものは採用しない。

4. 倫理的配慮

人および動物が対象の研究は、倫理的な配慮について、その旨を本文中に明記すること。

- 1) 人を対象とする研究では研究内容をあらかじめ十分に説明し、必ず自由意思に基づく同意を得ること。
- 2) 動物実験では動物福祉の立場から適切な実験計画を立て、全実験期間を通じて痛みや苦痛を与えないよう配慮をすること。

5. 利益相反

論文の末尾（文献の前）に、当該研究の遂行や論文作成における利益相反の有無を記載する。

- 1) 企業等から利益相反となるような経済的支援を受けた場合にはその旨を明記する。
例「利益相反：該当著者名（該当項目：企業名）」
- 2) 相反状態が存在しない場合には、「本研究における利益相反は存在しない」と記載する。

*利益相反

外部との経済的な利益関係等によって、公的研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれているのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態「厚生労働科学研究における利益相反（Conflict of Interest: COI）の管理に関する指針（平成20年3月31日科発第0331001号）」。

6. 著作権

本誌に掲載する著作物の著作権は、熊本保健科学大学に帰属するものとし、他誌などにその全部または一部を使用する場合は、保健科学研究誌委員会の同意を必要とする。但し、著作者は、自分の論文等の全文または一部を複製、翻訳・翻案などの形で利用することができる。

7. 原稿の提出・校正など

- 1) 原稿は3部を原稿提出締切り日までに、保健科学研究誌委員会に提出するものとする。
- 2) 本誌に投稿するにあたり、筆頭著者、連名著者の同意が得られていることを証明するために、著者全員の自筆署名・捺印した投稿原稿添付用紙（別紙）を原稿と共に提出すること。
- 3) 採用する原稿については電子データ（MS Wordを用いる）とし、その電子データを記録したCD-ROMのような電子媒体による提出を求める。電子媒体には、著者名、使用機種名、使用ソフト名、保存ファイル名を明記すること。
- 4) 保健科学研究誌委員会は、投稿原稿について、その内容、図・表、文章表現などについて訂正を求められることがある。

- 5) 原稿の掲載順序, 印刷体裁などは, 保健科学研究誌委員会に一任する。
- 6) 校正は著者の責任で行うこととする。ただし校正の際に内容, 体裁を著しく改変してはならない。
- 7) カラーページについては, 原則として実費を投稿者の負担とする。
- 8) 著者からの希望があれば, 別刷り (1論文に対して30部まで) およびPDF ファイルを進呈する。

原稿作成上の注意

1. 原稿の形式

- 1) 原稿は原則として, ワードプロセッサで作成する。A4版横書きの用紙を用いて, 左右余白25, 上下余白25mmをとり, 1行の文字数を40字, 1ページの行数を40行とし, 文字のフォントは明朝, サイズは11ポイントとする。句読点は「, および。」を用いる。英文原稿は, 1枚当たり65ストローク×25行とする。また, 原稿には頁番号を付する。
- 2) 本文の長さ, 図・表の枚数は, 原則として以下の表のとおりとする。ただし, 投稿者からの申し出により, 保健科学研究誌委員会が認めた場合は規程枚数を超えることができる。

原稿の種類	原稿頁数 (40字×40行)	図・表
総説		
原著	10枚 (16,000字) 以内	10枚以内
研究報告		
資料	5枚 (8,000字) 以内	3枚以内
その他		

2. 原稿の構成および内容

- 1) 原著および研究報告の原稿は, 表紙, 本文, 和文抄録 (英文の場合は英文抄録), 英文抄録, 図・表の順とする。和文抄録 (400字程度, 英文の場合は英文抄録250語程度) には, 3~5語以内のキーワードをつける。総説, 資料, その他の原稿は, 表紙, 本文, 図・表の順とする。
- 2) 本文は, 原則として, I 緒言 (はじめに), II 方法, III 結果, IV 考察, V 結語 (おわりに), 文献の順とするが, 研究分野によっては慣例に従った体裁とする。また, 漢字は必要ある場合を除き当用漢字を用い, 仮名は現代仮名づかい, 送り仮名を用いる。英数字は半角を用いる。
- 3) 原著および研究報告の原稿には, 250語程度の英文抄録をつける。総説, 資料, その他の原稿には, 英文タイトルをつける。なお, 英文抄録は, 原則としてネイティブチェック (英文校正) あるいは専門家の校閲を受けたものとする。
- 4) 原稿の表紙は, 上半分に論文表題を簡略にしたランニングタイトル, 表題, 英文表題, 著者名, 所属機関名 (所在地), 原稿枚数, 図, 表, および写真等の枚数, 下半分に論文の種類, 別刷り希望の有無と必要部数 (必要な場合), PDF ファイルの希望の有無, および代表投稿者の連絡先を記す。
- 5) 図, 表・写真は, 本文とは話して別葉とし, 図1 (Fig 1), 表1 (Table 1) のように番号をつける。図, 表・写真は, 左右8~9cm または12~15cm程度に製版されるので, その2倍または原寸大のものを提出のこと。また, それらに通し番号を付けておき, 本文原稿の欄外に, それぞれの挿入希望位置を朱書きで指定しておくこと。
- 6) 文献の記載は原則として下記の形式に従って記載する。ただし専門分野の慣例に従って記載することができる。
 - (1) 文献は, 本文中に引用した順に番号をつけ, 引用箇所の右肩に¹⁾ のように番号をつける。
 - (2) 文献は, 引用順に本文の末尾に一括して記載する。

- (3) 文献は、以下に示した記載様式*に従って記載する。
- (4) 著者名は3名以下の場合にはすべての著者名を記載し、3名を超える場合は3名を記載し、それ以上は「, 他」あるいは「, et al」と省略する。
- (5) 雑誌名の略記については「医学中央雑誌」, 「Index Medicus」に準ずる。

***文献記載例**

雑誌の場合

著者名：論文表題, 雑誌名, 巻：始頁－終頁, 西暦年号.

(巻がなく号だけの雑誌については巻のところに○○号, no. ○○と記載)

【雑誌例】

- 1) 熊本杏子, 佐藤一郎, 鈴木花子, 他：コンピュータ活用による看護教育. 日本看護学会誌, 123 : 23-28, 2003.
- 2) Harrison A, Sabatine MS, Nowak R, et al : B type natriuretic peptide in patients With heart failure. Clin Lab Sci, 39 : 555-561, 2001.

書籍の場合

著者名：題名, 監修者 (編者), 書名, 出版社, 始頁－終頁, 西暦年号.

【書籍例】

- 1) 熊本太郎, 福岡一郎：虚血性心疾患と血中脂質について. 動脈硬化症のすべて, 宮崎花子編, 朝倉書店, pp35-41, 1998.
- 2) 河合忠：腫瘍マーカー検査. 異常値の出るメカニズム, 第4版 (和泉学監修, 屋形稔, 伊藤喜久編). 医学書院, pp375-387, 2001.
- 3) Voet D, Voet JG : The complement system. Biochemistry 2nd ED, by Voet D, Voet JG. John Wiley & Sons, INC, pp1230-1995, 1995.

附則

この内容は、平成27年4月1日から施行する。